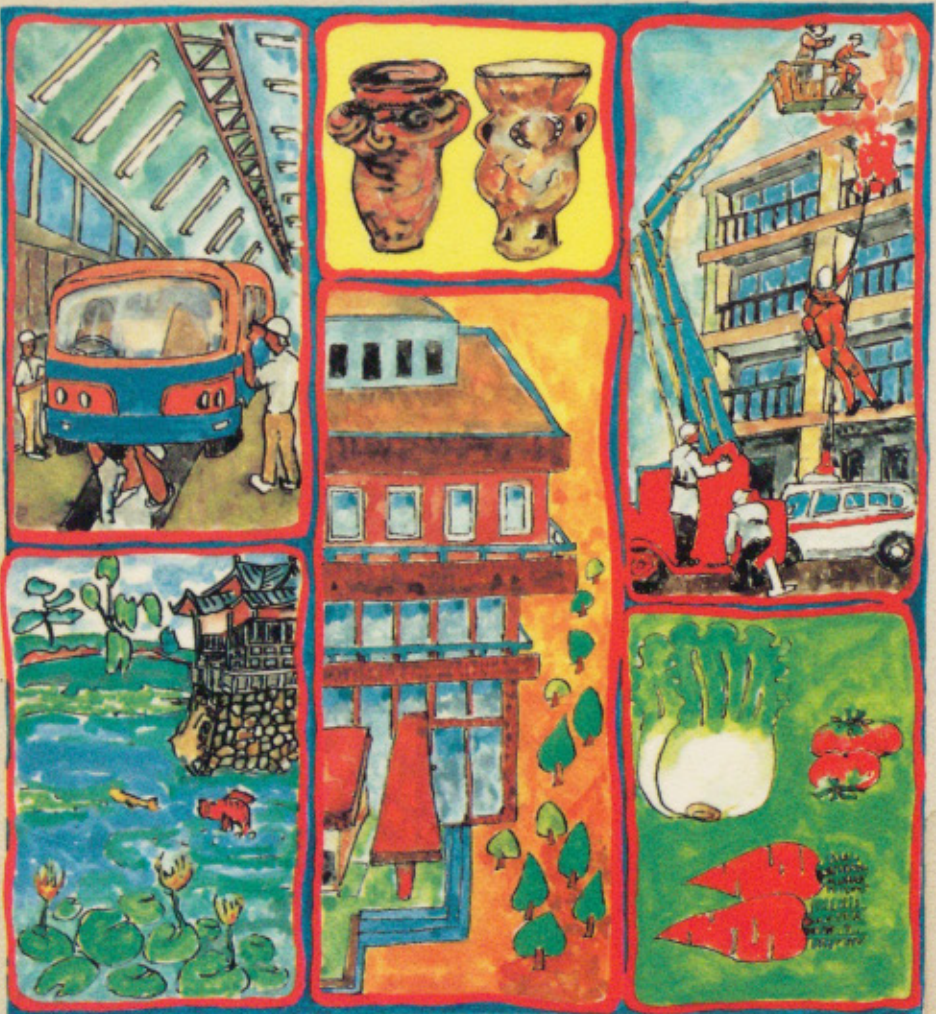


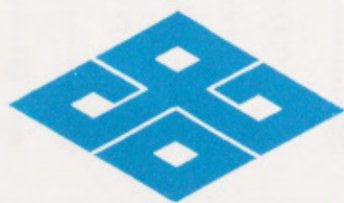
かかみがはら



各務原市教育委員会



かかみがはら



市章

昭和38年4月1日各務原市になったときにつくられたものです。那加、稲羽、鶴沼、蘇原の四地区が、しつかり手をむすんで各務原市をつくっていくこと。四地区が協力し合つて市が発展していくこと。こんな願いがこめられて、つくられたのです。



もくじ

三年

一 わたしたちの市のようにす……………4

市全体のようす……………6

2 各務原台地……………10

3 木曾川にそつたところ……………14

4 山地にそつたところ……………16

二 市の人たちのくらしと

田や畑のしごと……………20

1 にんじん畑……………22

2 にんじんと農業協同組合
(農協)……………28

3 農家のいろいろなしごとと
くふう……………33

4 市の田や畑のしごと……………37

三 市の人たちのくらしと

工場のしごと……………38

1 市の工場……………40

2 工場のあるところ……………42

3 バスを作っている工場……………46

四 市の人たちのくらしと

店のはたらき……………54

1 市の商店がい……………56

2 那加の商店がいのようす……………58

3 人やものつながり……………62

4 商店の人たちのくふう……………64

五 わたしたちの市と高山市……………66

1 わたしたちの県……………68

2 山の都高山市……………71

四年

3 高山市の土地のようす……………73

4 高山市の気候……………75

5 高山市の人たちのしごと……………76

6 工場のしごと……………78

7 農家のしごと……………81

8 冬のくらし……………86

9 わたしたちの市と
くらべて……………88

六 かわってきた各務原市……………90

1 市のうつりかわり……………92

2 市のはってん……………97

3 むかしからつたわるもの……………104

4 市のおもなできごと……………108

○ 市のようにす
つたえる写真……………110

一 けんこうでくらしよい生活……………112

1 ごみのしまつ……………114

2 市の水道……………122

二 安全な生活……………128

1 火事をふせぐ……………130

2 交通じこをふせぐ……………140

三 市の人々のゆたかなくらし……………148

1 中央公民館と
人々のくらし……………150

2 住みよい市に……………160

四 きょう土を開いた人々……………164

各務用水をつくる

1 各務用水の見学……………166

2 水がほしい農民……………172

3 用水路を作る……………177

4 用水ができて……………183



鵜沼宝積寺上空から見た木曾川

一 わたしたちの市のようす

わたしたちが、いま住んでいるのは各務原市です。

二年生では、わたしたちの毎日の生活とつながりのある、学校の近くにある店や工場、田畑、ゆう便局などのしごとについて学習しました。

三年生になって、わたしたちは、学校のまわりや、近くの町のようすについて学習してきました。

そこで、今度は、わたしたちの市である各務原市のようすについて調べていきたい



各務原市北部から見た那加のようす

と思います。

まず、各務原市のだいたいこのようすを知り、つぎに、市全体のようすをくわしく調べてみましょう

学校の近くは、見学に行つて、自分たちの目や耳でかんさつしましょう。見学のできないところは、この本を使ってしらべてみましょう。

わたしたちの住んでいる各務原市のようすやとくしよくを見つけていきましょう。

見たり聞いた
りしたことを
もとにして、
市全体のよう
すをしらべま
しょう。

― 市全体のようす

わたしたちの市の東から北に
かけて、高さ（かいぼつ海拔）二百メー
トルから三百メートルぐらいの
ゆるやかな山地がつらなってい
ます。

市の南はしは、愛知県との県
境きょうになっており、そこに木曾川
がながれています。

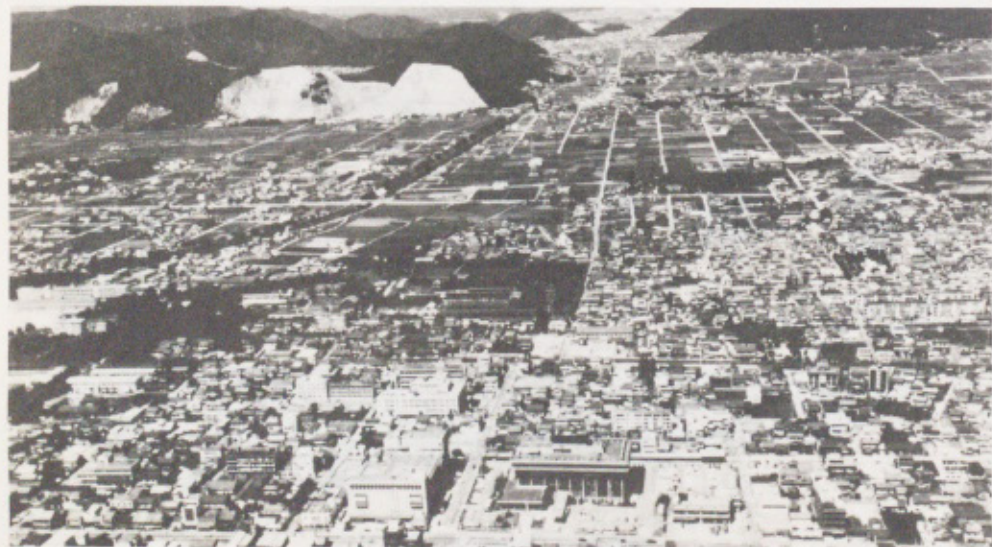
北部や東部の山のちよう上や、
鶉沼の住宅地の高いところなど

からは、広い川すじで、東から
西へと流れる木曾川を見ること
ができます。

また、前渡の木
動山のちよう上
からは、すぐ南
の木曾川のほか
に、すぐ北に広
がる飛行場のか
つ走路を見るこ
とができます。



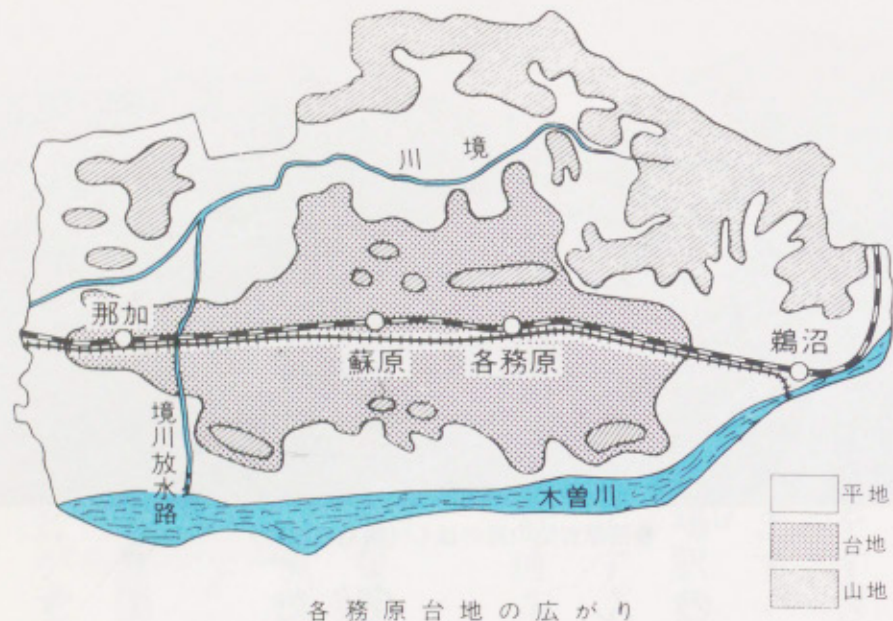
鶉沼の住宅地（遠くに木曾川が見える。）



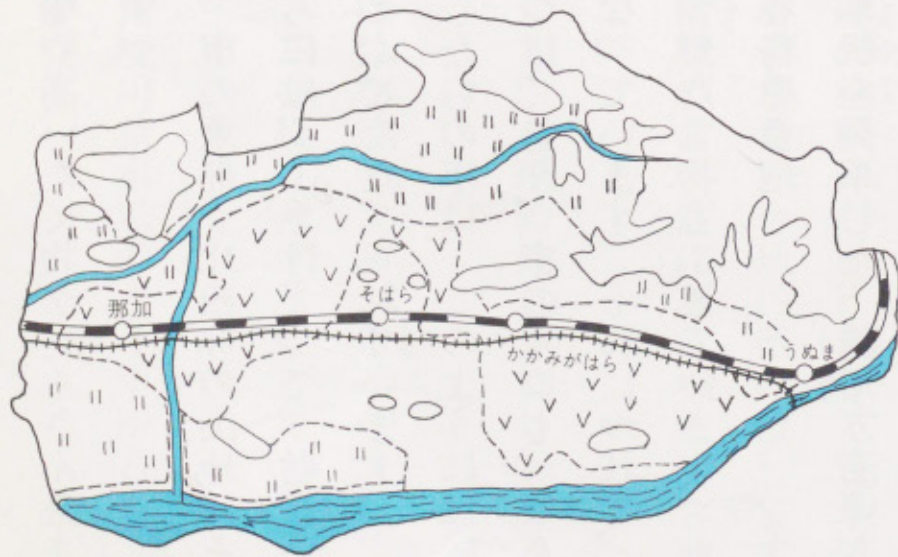
那加、蘇原の町と北部の山地



市の南を流れる木曾川



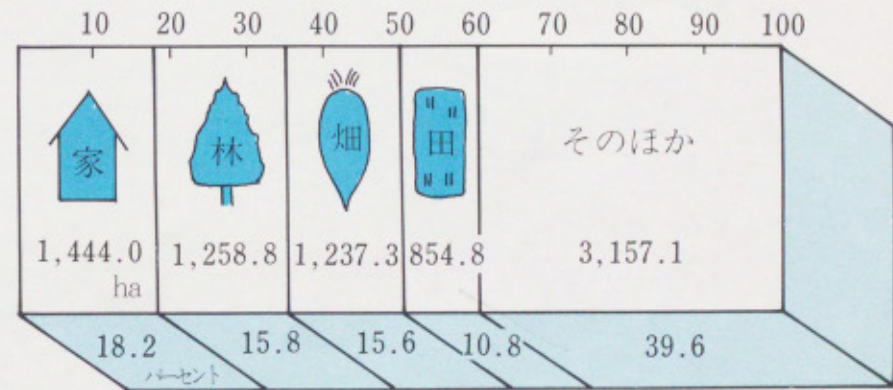
各務原台地の広がり



各務原市の土地利用のようす

市のなかほどの平地は、南の木曾川にそったところや、北がわの山地にそったところより、土地が高くなっており、「各務原台地」とよばれています。

この台地のまん中を、国道二
十一号線、こくてつたかやまほんせん国鉄高山本線、めいてつ名鉄各務原線が、ならんで東西に通
っており、この道路や鉄道をは
さんで、そのりようがわに、大



各務原市の土地利用のようす



各務原台地の東のはし (鶉沼羽場町)

きな工場や高いたて物がたくさん集まっています。

また、市の東部や北西部の山地にそつたところには、山をけずつて、新しい住宅が、どんどんたてられています。

わたしたちの市は、このように住宅がふえつづけており、市の人口も、どんどん多くなっています。それにつれて、市のしせつやたて物もふえています。

2 各務原台地

新岐阜駅を発車した、鶉沼方面いきの

近くに、台地のさかいがないか、土地の高さや土の色などに注意して見てみましょう。

電車が、高田橋駅をすぎ、新加納駅にむかうとき、電車は、坂をのぼりはじめます。ここが、各務原台地の西のはしです。

同じように、羽場駅と鶉沼宿駅のあいだにある坂も、台地のはし(東のはし)です。

国道二十一号線を通つても、この台地のはしをたしかめることができません。

台地のはしは、急な坂やがけになっており、申子、雄飛ヶ丘の北西、那加第二小学校の南、三井坂、大伊木などでも見るることができます。

また、昭和五年三月にできた境川放水路のようすからも、台地の高さを知ることができます。

台地に畑が多いのは、なぜでしょう。

この台地の表面は、「黒ぼく」とよばれる黒い色をした土でおおわれ、ほとんどが、畑として利用されています。

台地は、水はけがよいので、水の便が悪く、むかしは、羽場・二十軒・六軒・新加納などのかぎられたところにしか住む人がなく、「かかみ野」とよばれるまつ林でした。

しかし、飛行場ができたり、鉄道がしかれたりして、しだいに、この台地にも、人が住むようになりました。



深くほりさげられた境川放水路（那加）



たくさんの工場の集まり（三柿野）

また、この広い土地を生かして、工場や住宅がたくさんたてられました。

三柿野には、川崎重工岐阜工場を中心に、飛行機や自動車などをつくる工場がたくさん集まっています。

那加の町は、市役所をはじめ、いくつかの市のたて物が集まり、人の行き来も多く、市の中心となっています。

そして、人口の増加とともに、自動車の通行も多くなり、鶉沼のバイパスのよ

うに、道路も新しくつくられています。



木曾川のすぐ近くのさいせき工場（鵜沼小伊木町）

き工場が、川の近くに作られています。木曾川にそつたところでは、羽島用水をつかった水田が、多く見られます。

また、おりものさかんな前渡・下切・松本・上中屋・下中屋もこの木曾川にそつたところでは、

犬山橋の近くには、木曾川にめんして、いくつかの旅館が立ちならんでいます。犬山市のほうにも、多くの旅館があります。



鵜沼にある旅館

木曾川の流れに気をつけて道のようすをしましよ

3 木曾川にそつたところ
木曾川は、長野県や岐阜県の山地から流れ出る水を集めて、濃尾平野を通り、伊勢わんにそそぐ川です。

むかしの木曾川は、今の川すじよりもずっと北を流れていました。ですから、川の近くで地面を少し深くほると、石やじゃりばかり出てきます。

この 石やじゃりを取るさいせ



宝積寺ふきの木曾川



田や畑にかこまれた古くからの家（須衛）

みます。また、境川と蘇原の大島おおしまでわかる新境川は、台地をほとんどま南に横切り、木曾川にはいりません。

境川にそつた、ひくい土地や谷間には、水田がつくられ、おかや山すそは、畑や林や竹やぶになっています。

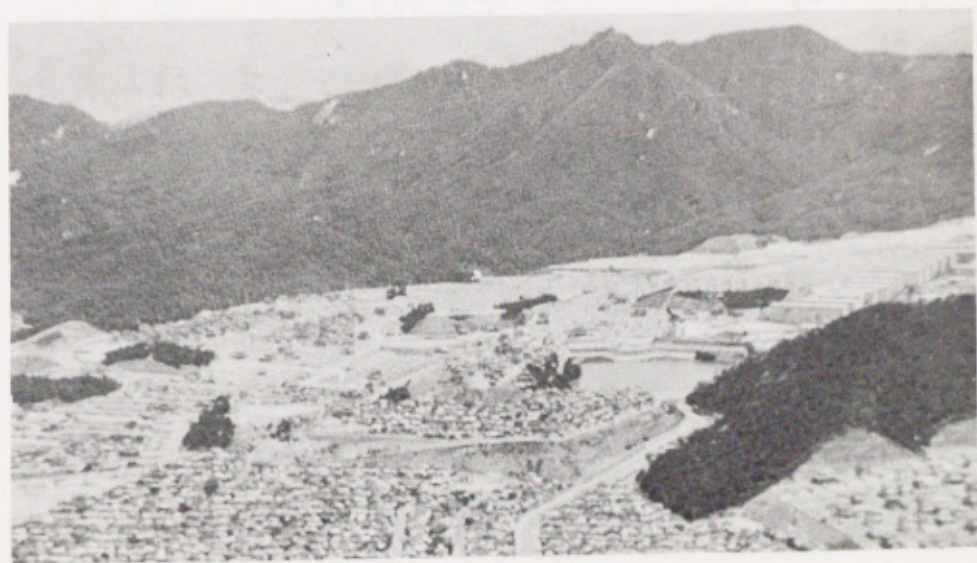
蘇原の大島より西のほうには、長良川から水をひいた「各務用水」がつくられ、田畑に利用されています。

この山地にそつたところを東西に走る県道には、岐阜市と美濃加茂市みののかもしをむすぶ

4 山地にそつたところ
各務原市の北部には、三百メートルぐらいの山がたくさんあります。この山地の高いところが、関市せきとのさかいになっています。

山地から流れ出る小さな川をいくつか集めながら、西にむかつて流れるのが、境川さかいがわです。

境川は、岐阜市の東を通り、羽島市おくま小熊で、長良川に流れこ



新しい住宅地と北部の山地

古いぶらぐや
新しい住宅団
地が、どんな
ところにある
のか、くらべ
ながら、しら
べてみましょう。
う。

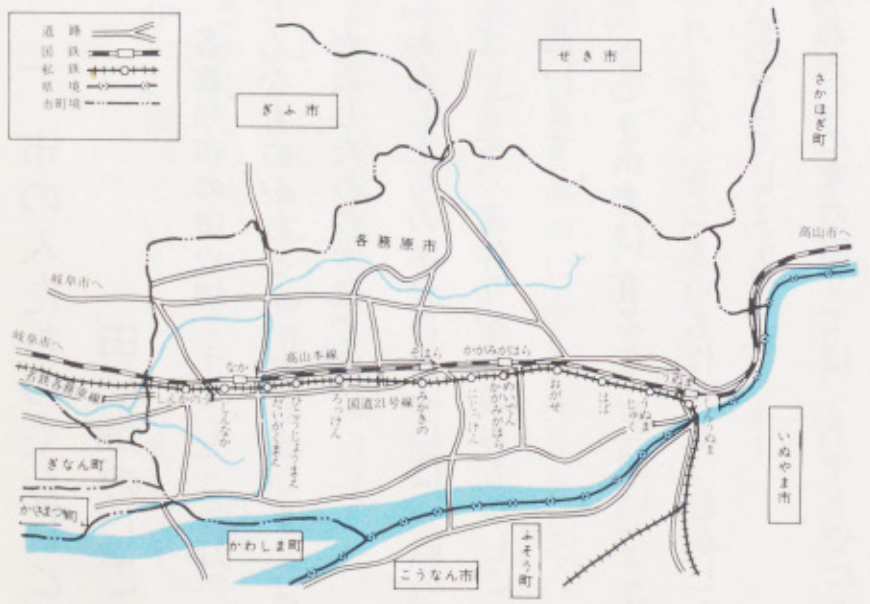
バスも通り、東から、各務・坂
井・古市場・大島・西市場など
古くからのぶらぐがならんでい
ます。また、北の山地の間を通
つて、関市につながる道や山す
そにそつて、須衛・持田・飛鳥
などのぶらぐもあります。

こうした古くからあるぶらぐ
に対して、東部や北部の山のふ
もとなどには、南むきのゆるや
かなしやめんを利用して、鶺沼

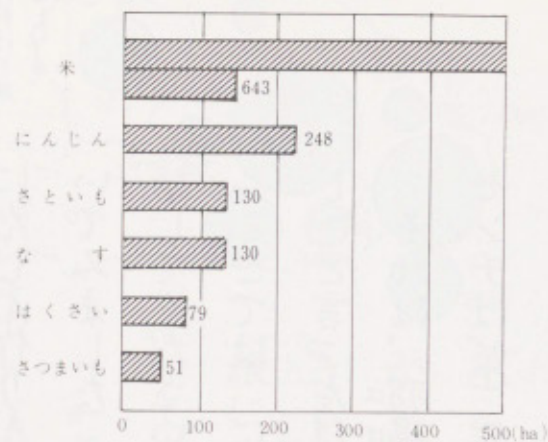
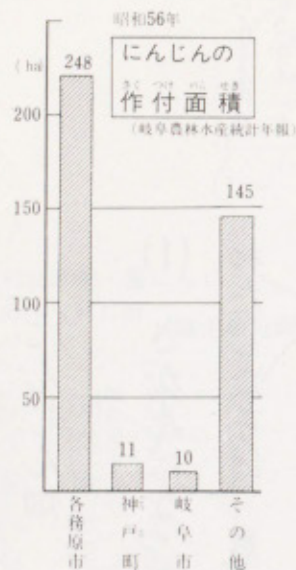


坂道の目だつ新しい住宅地（鶺沼台）

台団地、大和団地、丸子
団地・興人団地・尾崎団
地などの、大きな住宅団
地がつくられました。
これらの団地には、岐
阜市や名古屋市などに
とめる人が、多く住んで
おり、人の行き来とい
点からも、まわりの市や
町とむすびついているこ
とがよくわかります。



あいち県
も務原市のまわりの市や町



市のおもな作物の作付面積
(昭和56年・岐阜農林水産統計年報)



広々とつづくにんじん畑 (鶉沼)

二 市の人たちのくらしと

田や畑のしごと

各務原市の田や畑でするしごとには、おもにどんなものがあるか、話し合いました。

わたしたちの学級では、

「わたしたちの学校の近くには、田が広がっています。米作りが市のおもなしごとだと思います。」

「さつまいもは、有名だ。」と聞いたことがあります。さつまいも作りも、むかしからのしごとでしょう。」

「わたしの家の回りでは、トマトやにんじん

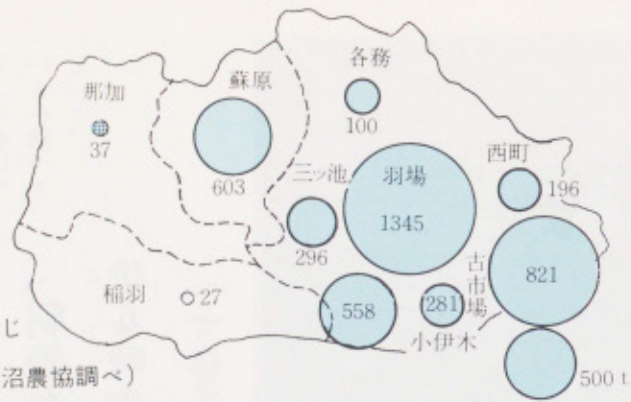
を作っているから、市ではトマトやにんじん作りもしていると思います。」

など、いろいろな意見ができました。

そこで、先生が、市で作っている作物の作付面積の表と県のにんじん作りをしている所の表を見せてくださいました。

それによると、各務原市では、にんじん作りがさかんであることがわかりました。

では、これから、各務原市のにんじん作りのさかんなわけ、せわやくふう、送り先などを中心に調べていくことにしましょう。



昭和58年春・夏にんじんの作られた所 (鷺沼農協調べ)

年ころ、西洋種せいようしゆのにんじんたんこん（短根—十五センチほど）が入ってきてからは、台地上の農家でも作る事ができるようになり、今では長根にんじんにかわって、短根にんじんがさかんに作られるようになった。それは、てまが少なくすみ、作りやすい。一年に二回しゅうかくができ、たくさんできる。作る日数が三十日ほど短くてすむ。やわらかくおいしいので、よく売れる。などすぐれた点があるからなんだ。そして、ほかの畑作物はたさくものとくらべて、ねだんの上がり下がりが少ないのも、多く作られるわけになっているんだよ。」

にんじん作りがさかんになったわけを調べましょう。

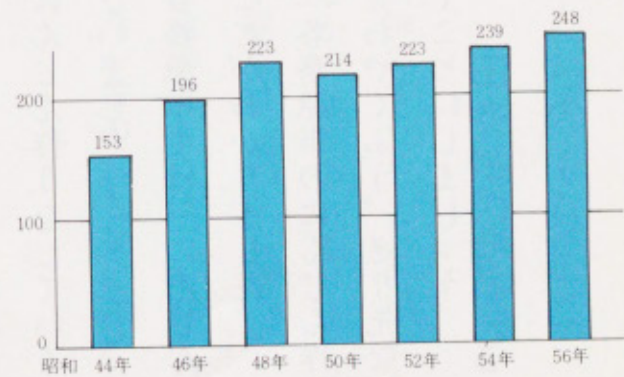
にんじん畑

(1) さかんになったにんじん作り

わたしたちは、農家へ行って、鷺沼ににんじん作りがさかんになったわけを聞いてみました。おじさんは、次のように話してくださいました。

「ここでは、にんじんごはんを『金魚めし』と言ったほどで、むかしからさかんに作られていたんだ。

それは、羽場はばや古市場ふるいちばの畑の砂土すなつちが、にんじん（長根—五十センチほど）作りに合っていたからだよ。しかし、昭和三十七



市のにんじんの作付面積のうつりかわり (市農政課調べ)

農家では、にんじん作りにどんなせわやくふうをしているか調べてみましょう。

(2) にんじん作りのせわとくふう

わたしたちはにんじんのしゅうかくにいそがしいおじさんに、どんなせわやくふうをしているかを聞きました。おじさんは、「朝の4時ごろからこのしごとをしているんだよ。その日の午後4時までのうきょうに農協へ送り出さないと、くさってしまうからね。」そして、畑にしいてあるレールを指さして、



たねまき



ビニルすかし (春夏にんじん)



わらしき (冬にんじん)



まびき

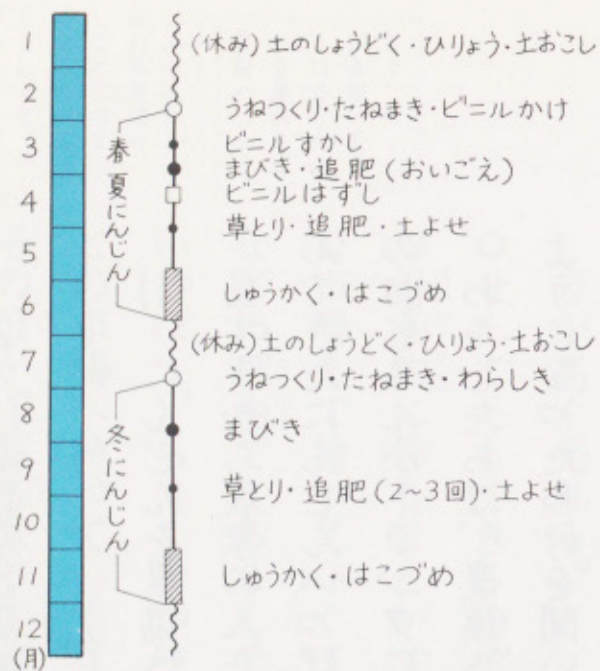


しゅうかく



にんじん洗い

「一番てまのかかるしゅうかくの時には、とれたにんじんのはこをのせ、道ばたの自動車まで運んでいくんだ。それを家まで運び、庭先にわさきにおかれたにんじん洗い機あらきで洗って、きれいにし、むしろの上にはし、大きさをそろえて、10kgキログラム分のにんじんをはかり、はこにつめるんだよ。はこにつめたら、ビニルのひもでしばるんだよ。ビニルの色は階級かいきゅうによってちがうん



にんじん作りのしごとごよみを作りましよう。

るしごとは、めんどうだけど、だいじなしごとなんだよ。もちろん、冬にんじんには、ビニルかけはしないで、わらを細かく切つてしき、夏の暑さから、にんじんを守るんだ。」

にんじん作りのしごとごよみ

「少し大きくなつたら、まびきといつて、形がよくて大きいにんじんにするため、あまり育っていないものをひきぬくしごともあるんだ。これは、よく見なくてはいけないし、こしをまげて長い時間やるので、とてもえらいしごとなんだよ。」

と、くわしく教えてくださいました。

階級	3 L	2 L	L	M	S	優
重さ(g)	250以上	150 ~ 249	110 ~ 149	70 ~ 109	40 ~ 69	100以上
品質	○	○	○	○	○	△
テープの色	青	黄	むらさき	ピンク	緑	白

(L・Mの大きさが、一番よく売れる。)

そのほか、春夏にんじんのときには、気温が下がってもいいように、ビニルをかけるんだよ。また、温度が上がりにすぎないように、ビニルの下をすかすこともある。すかすことをわすれると、にんじんがぜんぶかれてしまうことがあるので、よく温度に気をつけているんだよ。ビニルをかけたり、すかしたりす

だよ。」

「しゅうかくまでにはいろいろなしごとがあるんだ。土おこし・うねつくり、たねまきは、みんな機械でやつてしまうんだ。

2 にんじんと農業協同組合（農協）

(1) にんじんを農協へ

農協へにんじんを集めるようになったわけを調べよう。

昼すぎから農家の人たちが、自動車で運んできたにんじんいっぱいのはこを、農協のおじさんがトラックにつみこんでいます。わたしたちは、農協へにんじんを集めるようになったわけを聞いてみました。おじさんは、次のように話してくださいました。「それは、昭和四十三年、各務原市が国のにんじん生産の大切な所にえらばれてから始まったのです。



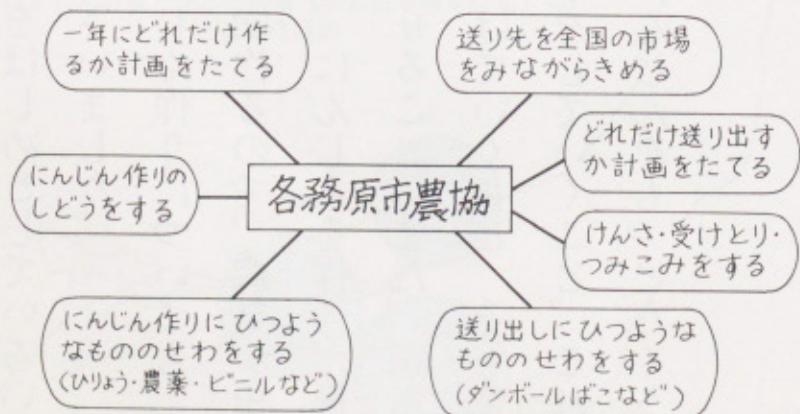
農協の人たちがトラックへつみこむ

にんじんにかわる農協のしごとはどんなことがあるでしょう。

農協で集めるようになったことを、農家の人たちは、

- べつべつに売るより、まとめて売るのが高く売れる。
- せんでんもできるので、よい。
- 計画的に作るができる。
- 市場まで持っていくてまがはぶけるなどの理由でよろこんでいます。
- いっぽう、ちよくせつ岐阜や名古屋などの市場へ持っていく農家もあります。

そのほか、各務原市農協では、農家の



にんじんにかわる各務原農協のしごと

これからの、
にんじん作り
には、どんな
ことをくふう
していったら
いいでしょう。

人たちのために、にんじん作りのしどうをはじめとしていろいろなしごとをしていることも教えてくださいました。

さいごにおじさんは、これからのにんじん作りについても、「いまの鶴沼のにんじん畑は、一年に二回作るの、病気が出やすく、つかれています。これからは、にんじんを作った後に牛のえさとなる草を作ったり、休ませること。また、家ちくのふんをいれて、土づくりに気をつけていくこと。そして、まびきのしかたなどの作り方のくふうをしていくこと。これらのことをくふうしていけば、よいにんじんをもつとたくさん生産^{せいさん}することができるとしよう。」と、話してくださいました。

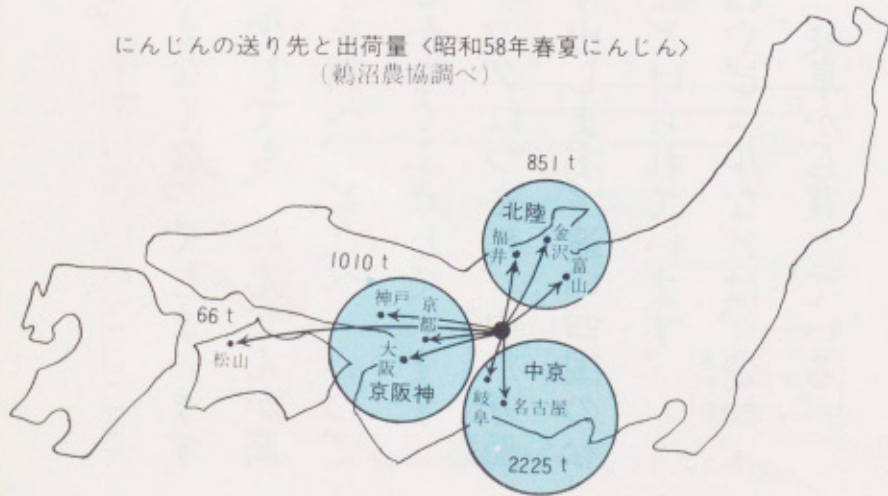
にんじんのけ
んさをするわ
けを調べてみ
ましょう。

(2) にんじんのけんさとむすびつき
わたしたちは、にんじんを送り出すことについて、農協のおじさんにたずねました。

「農協にあつめられたにんじんは、まずけんさされます。もし、にんじんが、

- ・くさりかけている。
- ・形が悪い。
- ・はこの中ににんじんが一〇キログラム入っていない。

にんじんの送り先と出荷量 <昭和58年春夏にんじん>
(鶴沼農協調べ)



にんじんをとおして、どことどんなむすびつきがあるでしょう。

・にんじんの大きさがばらばらである。
 こんなことがあると、高く買ってもらえなくなってしまう。
 それで、けんさをするので。また、少しでも、にんじんが高く売れるように、全国の市場のようすを調べ、どこへ、いつごろ、どれだけ送り出すと、高く売れるかをくふうしています。
 けんさされたにんじんは、すぐトラックにつまれば、中京方面を中心、京阪神・北陸・四国へ送り出します。遠い四国の松山でも、次の日の朝五時には、もうとどけられています。
 いっぽう、にんじん作りに使うたねやビニルなどは、愛知・静岡から、たねまき機などの機械は、岐阜から買っている。」
 と、教えてくださいました。

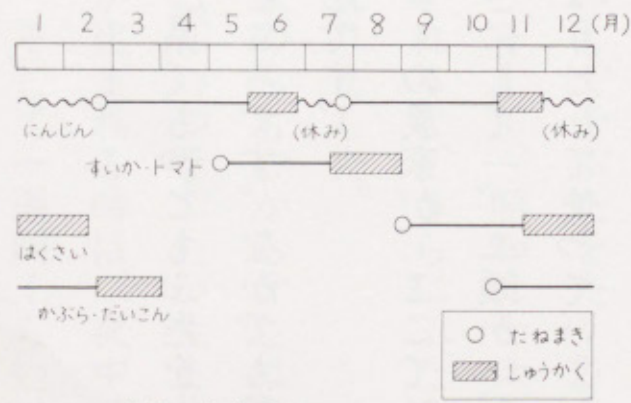
3 農家のいろいろな

しごととくふう

にんじん作りのほかに畑では、どんなしごとをしているか、わたしたちは、農家のおじさんから聞いたことをもとに、しごとごよみを作りました。

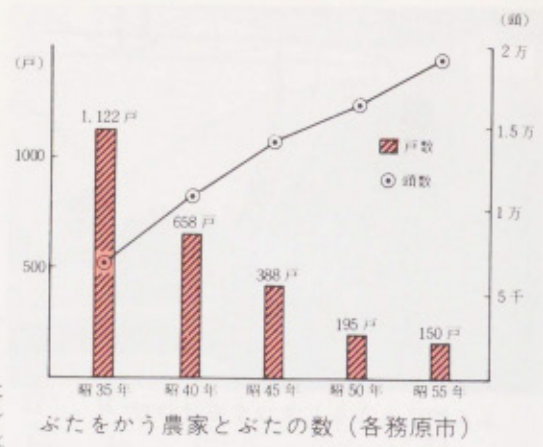
それによると、にんじんを中心にしごとをすすめていることや、すいか・トマトを送り出した後に白菜やかぶら・だいこんが作られていることなど、一年中いろいろとしごと

農家のしごとごよみを作りましょう



鶴沼の農家の畑でのしごとごよみ

ぶたをかう農家のしごとやくふうを調べましょう。



れた所に豚舎とんしやがたててあります。これは、いつ子ぶたが生まれてもよいようにするためです。子ぶたが生まれる時は、夜中でもせわをし、朝になることもあります。そして一週間くらいは、親ぶたにふまれないうようにべつべつのへやにわけて育てます。少し大きくなると、ちゅうしゃをうったり、えさをくふうした



ぶたをかつているようす

をくふうしていることがわかりました。そして、畑のしごこのほかに、ぶたをかつている農家があることも聞きました。

◇ぶたをかう

わたしたちの市は、県でもっともぶたをかつている農家が多いところですが、なかでも鵜沼おおいぎ(大伊木)はさかんです。八十年ほど前から多くの農家が、ここでとれるさつまいもをえさにして一、二頭かい、ふんを畑作物のひりょうとして使っていました。ところが、昭和二十五年ごろ、さつまい

りします。しごとには、えさをやることや、病気にならないよ
うに、また、はえがわからないように豚舎とんしゃのふんやふんやによる取り
ます。夏のあつい日は、せん風機などですずしくしたり、冬の
寒い日は、豚舎をかこいあたたかくして育てます。

農家の人たちがなやんでいることは、ふんやふんやによるをどのよ
うにしまつするかです。さいきんでは、上のよう
なせつびせつびでふんやふんやによるをひりょうにして、良い
土つくりつくりに使う農家がふえています。

いままでは、子ぶたぶたをかう農家が多かったので
すが、しゅう入しゅう入を多くするために、大きくなるま
で育てて売る農家がふえてきています。



ふんやふんやによるをしまつするせつびせつび

4 これからの田や畑のしごと

先生は、これからの市の農家の人たちのしごとについて、

「いま、市では団地だんちや家がたくさんできて、田や畑が少なくな
り、それらのしごとをする人も少なくなってきました。それ
でこれからは、農家一けんあたりの田や畑をふやし、機械を
多く使ってしごとをするようになっていくでしょう。いっば
う、せまい場所でもできるビニルハウスを作り、メロン・な
す・いちごなどのてまのかかる作物を生産せいさんし、しゅう入しゅう入をふ
やそうとする農家がふえていくでしょう。」

と、教えてくださいました。

これからの市
の田や畑のし
ごとはどんな
くふうをして
いったらいい
でしょう。



蘇原にある小さな工場

いている人のようすや数をしらべ、絵や表に
まとめましょう。

つぎに、市全体の工場の数やしゆるい、工
場の集まっているところ、工場ではたらく人
などについてしらべ、市全体の工場のおおよ
そのようすを見つけましょう。

また、市にある大きな工場をえらび、げん
りようや部品が、どこから送られてくるか、
せい品は、どこへ送られているか、はたらい
ている人は、どこから通^{かよ}ってくるかなどにつ
いてしらべましょう。

わかったことは、絵や文、表やグラフにし
て、くふうしてまとめましょう。



蘇原にある大きなバス工場

三 市の人たちのくらしと 工場のしごと

わたしたちの市には、工場がたくさんあり
ます。はたらいっている人が二、三人という小
さな工場もあわせると、千四百いじょうにも
なります。これらの工場では、毎日、いろい
ろなせい品が、多く作り出されています。

ここでは、市にある工場と、人びとのくら
しや、ものとのつながりについて、しらべた
り、考えたりしましょう。

はじめに、家や学校の近くにある工場の見
学をして、工場で作っているものや、はたら

工場の数のグラフと、はたらく人の数のグラフをくらべてみましょう

Ⅰ 市の工場

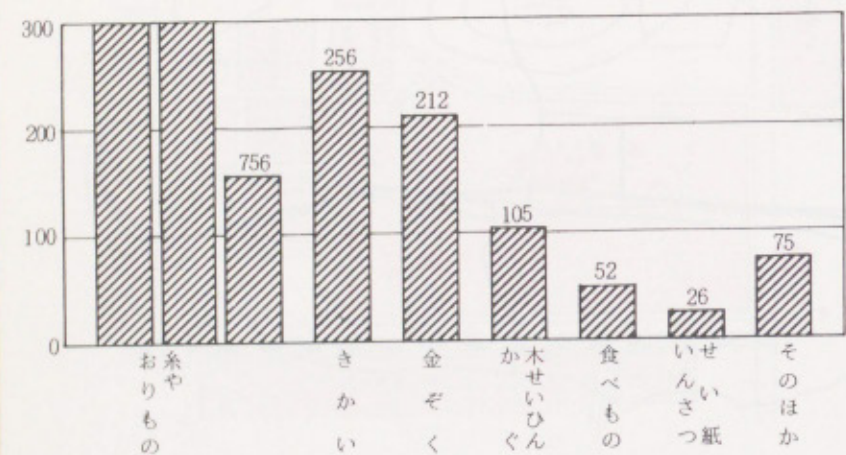
わたしたちの市には、どんなしゅるいの工場が、どのくらいあるのでしょうか。グラフを見てしらべてみましょう。

「工場の数が多いのは、どんなしゅるいの工場でしょうか。また、少ないのは、どんなしゅるいの工場でしょうか。」

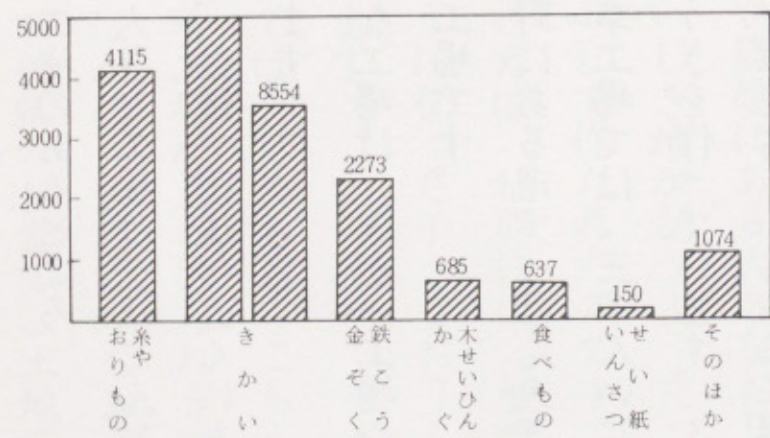
グラフを見て、いくつあるか、みんなで、読んでみましょう。つぎに、工場ではたらく人の数のグラフを読んでみましょう。「はたらく人が多いのは、どんなしゅるいの工場でしょうか。」

この二つのグラフをくらべてみると糸やおりものの工場は、小さな工場が多く、きかいの工場は、大きな工場が多いということがわかります。はたらく人が一〇〇人じょうの工場は、

十八あり、そのほとんどがきかいの工場です。



各務原市にある工場の数 (全 1,482 工場) 昭和 55 年工業統計調査



各務原市にある工場ではたらく人の数 (全 17,488 人) 昭和 55 年工業統計調査

工場の集まっている蘇原 (昭和58年)
(●は川重車体の協力工場)



けでなく、市のあちらこちらにあります。鶴沼や蘇原にある大きなおりもの工場は、広いしき地がひつようだったので、畑をつぶして作られたのです。おりもの工場といえは、稲羽には、屋根がのこぎりのようになった小さなおりもの工場が見られます。

那加では、町のあちらこちらに、いくつもの町工場が見うけられます。

そのほかに、きんぞくだんち金属団地もあります。こ

こは、市や県のお金で、土地をたいらに

市の大きな工場 昭和58年8月現在



2 工場のあるところ

市の大きな工場は、ほとんどが、台地にあり、鉄道や国道の近くにあることがわかります。

大きな工場は、きかい工場や糸やおりものの工場です。

三柿野にある市で一ばん大きい、川崎重工業^{じゅうぎょう}工場では、三千人いじょうの人がひこうきを作っています。この工場は、市で、一ばん古くからある工場です。この工場とつながりのある工場は、蘇原だ

たぐさんの工場が、一か所に集まると、どんなよいことがあるか、考えてみましょう。

したり、工場で使う水をひいたりして工場を集めた所です。今では、七十一の工場で、二千三百人ほどの人がはたらいています。

これと同じように木材団地が、須衛に作られました。そこには、三十の木材工場が集まっています。

市には、これらのほかに、はたらく人が十人以下の小さな工場が、千二百もあります。小さな工場は、市のあちらこちらにあります。



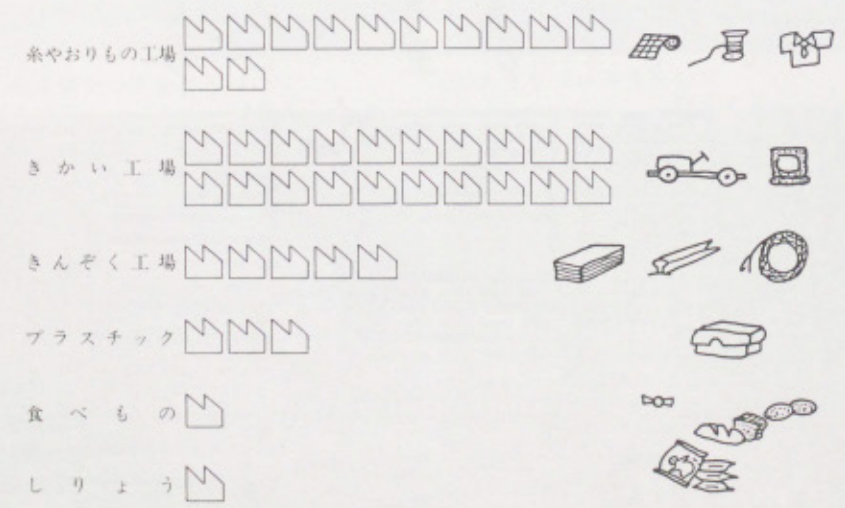
木材団地



金属団地

これらの小さな工場で作られるものの多くは、大きな工場で作られるせい品の部品としてつかわれるのです。

このように、わたしたちの市の多くの工場は、たがいに、つながりあい、多くの人たちの力によって、たぐさんのせい品が作られているのです。これから、市の工場では、たぐさんのせい品が作られていくでしょう。

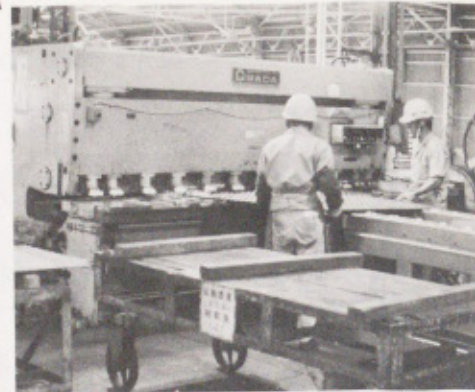


50人いじょうの工場のしゅるい別の数 (昭和58年度)

つくられていくじゅんじょとようす



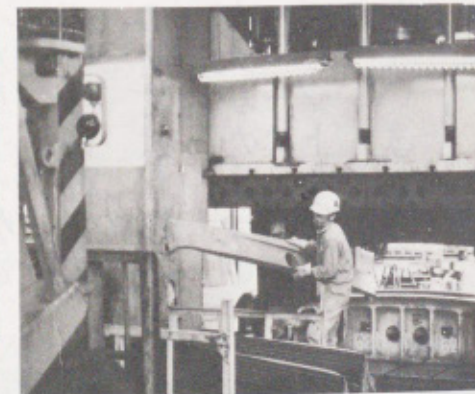
④いろいろなものをとりつけるところ



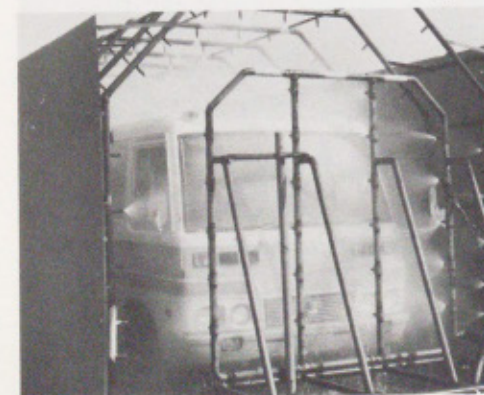
①げんりょうの鉄ぼんを切っているところ



⑤とそう後シートをとりつけているところ



②大きなプレスきかいで型をとるところ



⑥シャワーテストで水もれをしらべてできあがり



③バスの外がわをくみ立てているところ

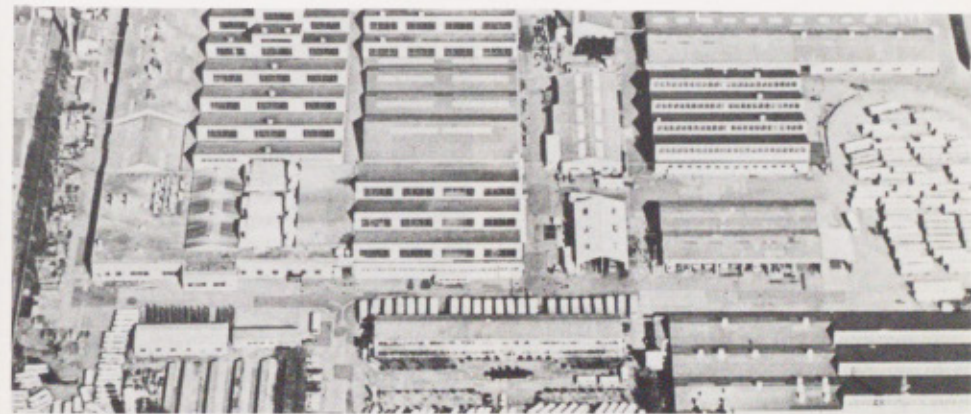
工場見学の計
かくをたてて
みましよう。

3 バスを作っている工場

(1) 工場見学

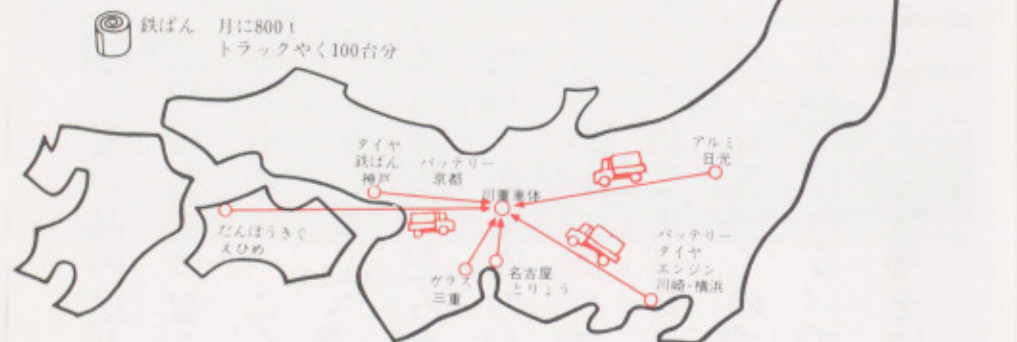
わたしたちは、はたらいている人の多い、川重車体の工場を、見学することにしました。

この工場は、十年ほど前に、川崎重工から、分かれてできた工場で、大がたバスやマイクロバス、それに、いろいろな車を作っていました。工場の中には、六百人あまりの人たちが、いろいろな仕事をしていました。



川重車体の工場の全景

げんりょうや部品が送られてくるところ (昭和58年8月調べ)



「バス一台に、三千この部品が使われるのですよ。ここにある部品は、市内や、県内だけでなく、川崎や横浜・神戸などの工場から、トラックではこばれてくるのです。一日、この工場にいます、よその県のナンバーをつけたトラックが来て、にもつをおろしては、かえっていくことがわかりますよ。」

と、話してくれたので、おどろきました。

げんりょうや部品は、どこから、どのようにして、はこばれてくるのか、しらべましよう。

(2) げんりょうや部品
工場の門で見ていると、トラックや、ライトバンが、出たり入ったりしていました。

げんりょうの、鉄ばんや、アルミ板、ガラス、とりょうなどや、部品をはこんできたのです。工場のそうこの前では、部品をいっばいつんだ大がたトラックから、フォークリフトを使って、部品をおろしていました。



部品をトラックからおろしているところ








できあがってならべられているバス

何十台もならんだバスを見ると、青森市^{しえい}営
 とか、東都観光といったバス会社の名前が、
 書いてありました。そして、送り方は、
 「この工場のせい品は、バスだから、そのま
 ま、送り先までうんてんしていきます。うん
 てんしていく人は、陸送^{りくそう}の仕事をしている会
 社の人に、たのんでいます。」
 と、教えていただきました。
 しかし、ほかの工場のせい品は、ほとんど
 がトラックではこばれ、鉄道^{てつどう}は、あまりりよ
 うされなくなつたとも、話してくれました。

せい品の送り
 先を、地図に
 表してみま
 しょう。

(3) せい品の送り先
 工場の広場にならんだ何十台も
 のバスを見て、こんなにたくさん
 のバスが、どこへ、どのようにし
 て送られるのだろうか、と考えて
 いたら、あん内^{あんない}のかかりの人が、
 「できあがったバスは、北海道か
 ら、沖縄^{おきなわ}まで、日本中のバス会社
 へ送られていくのですよ。あそこ
 にならんでいるバスを見てごらん。」
 と、言っで広場をゆびさしました。

一か月に作られるバスの台数 (昭和58年7月)  →10台

大がたバス	 63台
中がたバス	 29台
マイクロバス	 216台
冷とう車	 17台





こんざつする朝の三柿野駅

このように、べんりがよいので、大垣市や、白川町・多治見市など、遠い所から、通うことができます。

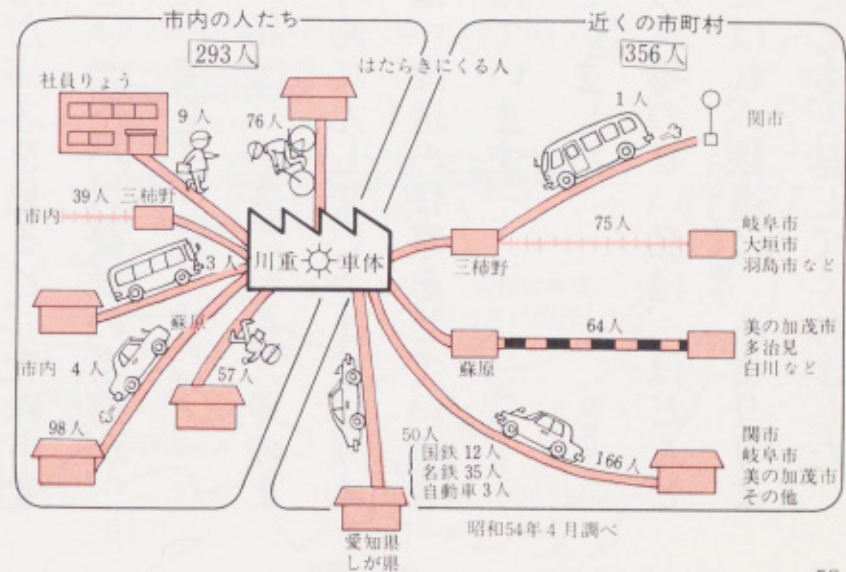
となりの愛知県からも、愛岐大橋ができてべんりになり、自動車で通っている人がいます。

また、遠くて通えない人は、社員りょううに入っています。

このように、工場ではたらく人たちは市内だけでなく、県内のあちらこちらの市や町から来ています。

(4) はたらく人
 八時ちかくなると、工場の門をくぐる人が、ひっきりなしに來ます。鉄道やバス、自動車やオートバイ、自転車などで、通^{かよ}ってきます。市内だけでなく、近くの市や町からも通ってきます。

この工場は、三柿野駅や蘇原駅に近いし、朝夕は、電車やバスの回数も多いので、通うのにつごうがよいのです。





商店がいにある大きな店

絵や表にまとめてみましょう。

次に、店がたくさん集まっている商店がいを見学して、次のようなことをしらべたり、考えたりしてみましょう。

- 商店がいのある所は、どこか地図に表す。
- 商店がいのようすをかんさつして、店のしゆるいや数を、絵地図に表し、店の集まっているわけを考える。
- 商店がいと人やものは、どのようにつながっているのか、店の人に聞いてまとめる。
- 商店がいの人たちのくふうや、きょうりよくしていることを見つけたら、店の人に聞いたりして絵や表にまとめる。



家の近くにあるやおやさん

四 市の人たちのくらしと 店のはたらき

わたしたちの市には、いろいろな店が、たくさんあります。家の近くにあるやおやさん、市のにぎやかな通りにあるせんもん店など、店のようすにちがいが見られます。

ここでは、市の商店がいのようすを、しらべ、商店がい、市の人びとのくらしと、どのようなものにつながっているのかを、学習しましょう。

はじめに、買い物しらべをして、どこで、どんな品物を、手に入れているのかしらべ、

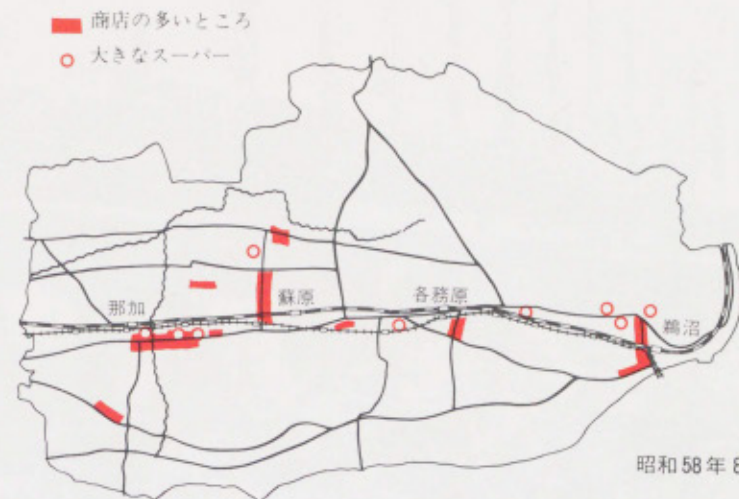


国道ぞいにある店の日曜日のようす

このように、商店がいはいは、人が多く集まってくる駅と、つながりがあることがわかります。それと、車のよく通る道ろのりようがわに、多いこともわかります。

商店がいはいのほかに、食料品や日用品を売る大きな店が、国道ぞいにくつもあります。毎日使うものが、まとめて買えるので、たくさんのお客でにぎわいます。

市の人口がふえてくると、生活にひつようなものを売る店と、人びとのくらしのむすびつきは、ますます強くなつてきます。



店のたくさん集まっているところ

市の商店がい

市で商店の多く集まっている所は、那加の町です。国道二十一号線ぞいや、那加駅、新那加駅ふきんには、とくに多くの店が集まっています。

鶺沼では、新鶺沼駅や鶺沼駅ふきん、三柿野駅、名電めいでん各務原駅ふきんに多く集まっています。

蘇原の六軒駅の北の柿沢通りかきさわどおりや、古市場、稲羽の成清町なるきよなどにも、多くの店が集まっています。

商店が集まっているところを見学して、絵地図にまとめてみましょう。

2 那加の商店がいのようにす

(1) 店の集まり

国鉄那加駅の南の本町通りは、市でも古くからある商店がいです。三百メートルほどの通りのりょうがわには、四十けんほどの店がぎっしりとならんでいます。

この商店がいへ行けば、くらしにひつようなものは、ほとんどそろえることができます。この通りの店は那加駅ができ、人が集まって



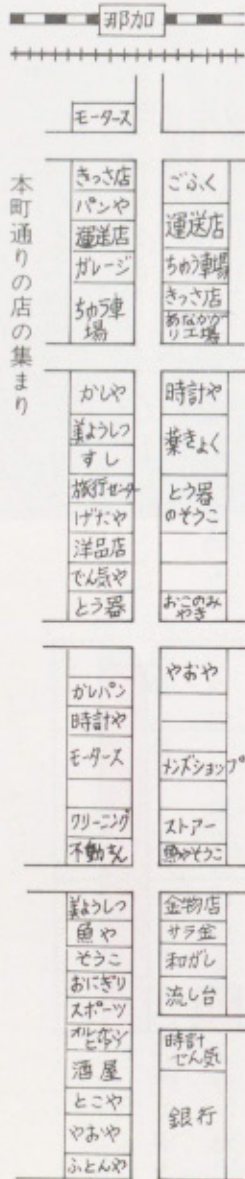
本町通りの商店がい

どうして店がたくさん集まるようになったのか、考えてみましょう。

くるにしたがつて、だんだんと多くなってきたのです。駅ができたころは、二、三けんの店があっただけでした。

この商店がいをはってんさせてきたものに、一・六市があります。一・六市は、今もこの通りの東で、つづいています。

この商店がいでは、那加の町の人だけでなく、市内のあちこちの人たちが、買い物にきてくれるよう、毎月、サービスデーをきめたり、遠くから、車で買えるものに来る人たちのために、ちゅう車場をきょう同で作っている店もあります。



MEN'S SHOP

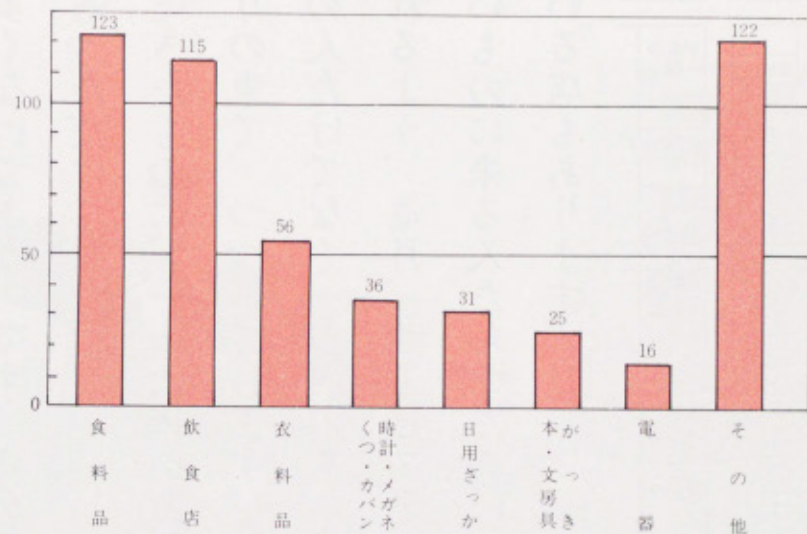


せんもん店の店先

店の品物は、しんし服せんもんで、たくさん
さんのしゆるいの品物をそろえています。
お客さんに気に入ったものをえらんでもら
うためです。
新しいデザインの服をきたいとか、ちょ
っとおしゃれをしたいといったお客さんの
ために、よそのお店にないような品物を仕
入れています。
お客さんのこのみにあつた品物、売れの
こらない品物をえらぶのにくろうします。
このため、お客さんののぞむことや、新し
い品物に気をくばってよりよい品物を安く
仕入れなければならぬので、たいへんで
す。

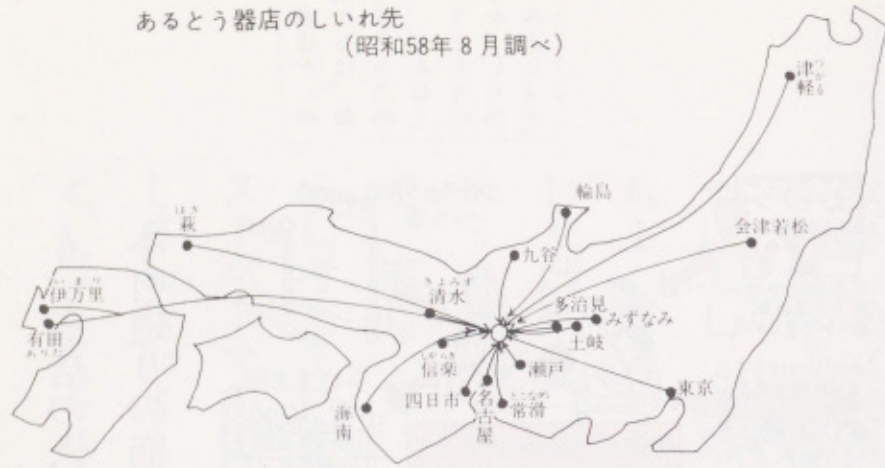
洋品店の人の話

(2) せんもん店
本町通りのりょうがわに、ご
ふく店・とう器店・婦人服店・
電気店など、せんもんの品物を
売る店がたくさんならんでいま
す。
それぞれの店では、お客さん
が入りやすいよう、工夫をこら
して商品をならべたり、店のシ
ョーウィンドーに商品をかざつ
たりしています。



那加の商店がいのしゆるいと数 (九商店会)
(昭和56年・商工会調べ)

あるとう器店のしいれ先
(昭和58年8月調べ)



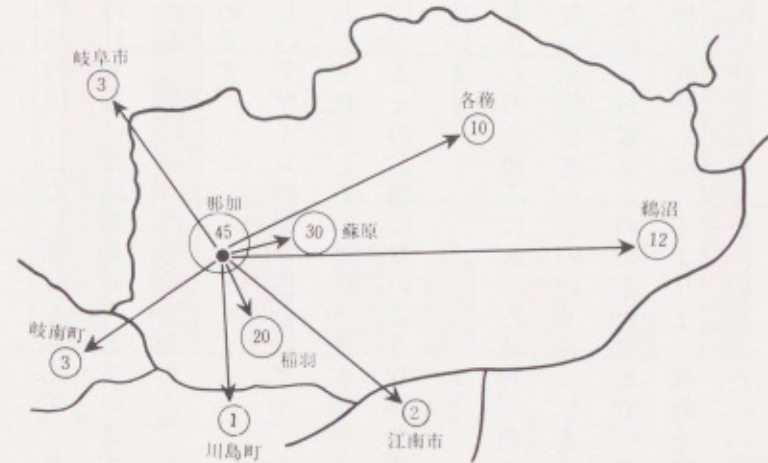
と、話してくれました。
また、店の品物は、どこから来たのかを聞くと、店先のはこをゆびさしながら、「ここに有田ありたやき、と書いてあるでしょう。これは、九州のやき物ですよ。店の品物は日本中の、ゆうめいなやき物が集まっていますよ。」
と、話してくれました。
そういえば、近くのやおやさんの店先にあるくだものや、野さいのはこを見ても、遠くの市や県でとれた物だとわかります。

かい物に来る人は、どこから来るのか、店の人に聞いてしましよう。

品物は、どこから来るか、しらべたり、聞いたりしてまどめましよう。

3 人やもののつながり

かい物に来る人は、どこから来るかを、とう器店の人に聞くと、「日よう日の午後になると、かい物客でにぎわいます。かい物には那加、蘇原、稲羽といった、近くの人がやはりたくさん来ますね。市内だけでなく、まわりの市や町からも、かい物にやってきます。つとめ帰りなどにも、かい物をしていく人もいますね。」



あるとう器店の品物のとどけ先 (2か月間の回数)
昭和58年7-8月調べ

商店がいの
人たちは、品
物を売るため
に、どんなく
ふうをしてい
るか、しらべ
てみましょう。



4 商店の人たちのくふう

本町通りの商店の人たちが、いっしょになって、本町通り商店会をつくっていています。商店会ではお客をよびよせるために、たすけ合っているのです。

そのために、どんなくふうをしているか、商店会の人に聞きました。「まず、お客さんがたくさん来てくれないと、こまります。そのために年のくれに、大売り出しをしたり、夏には、歩行者天国をして、お客さ

んが、たくさん来てくれるようにしています。また、年に四回のかざりつけもし、街路^{がいろ}どうもつけて、気持ちよく買い物をしてもらうくふうをしています。これからも、共同のちゆう車場や、アーケードなどを作って、楽しく買い物をしてもらえるように考えています。それに、大きなスーパーマーケットにお客が行ってしまわないように考えています。」

と、話してくれました。



歩行者天国

岐阜県の中で
各務原市と土
地のようすの
ちがう市を見
つけてみまし
よう。

五 わたしたちの市と高山市

わたしたちは、今までの学習の中で、各務原市の土地のようすや市の
のちがう市についてしらべてきました。

この勉強から、市の人たちのしごとやくらしは、土地のようすと深く
つながっていることがわかりました。

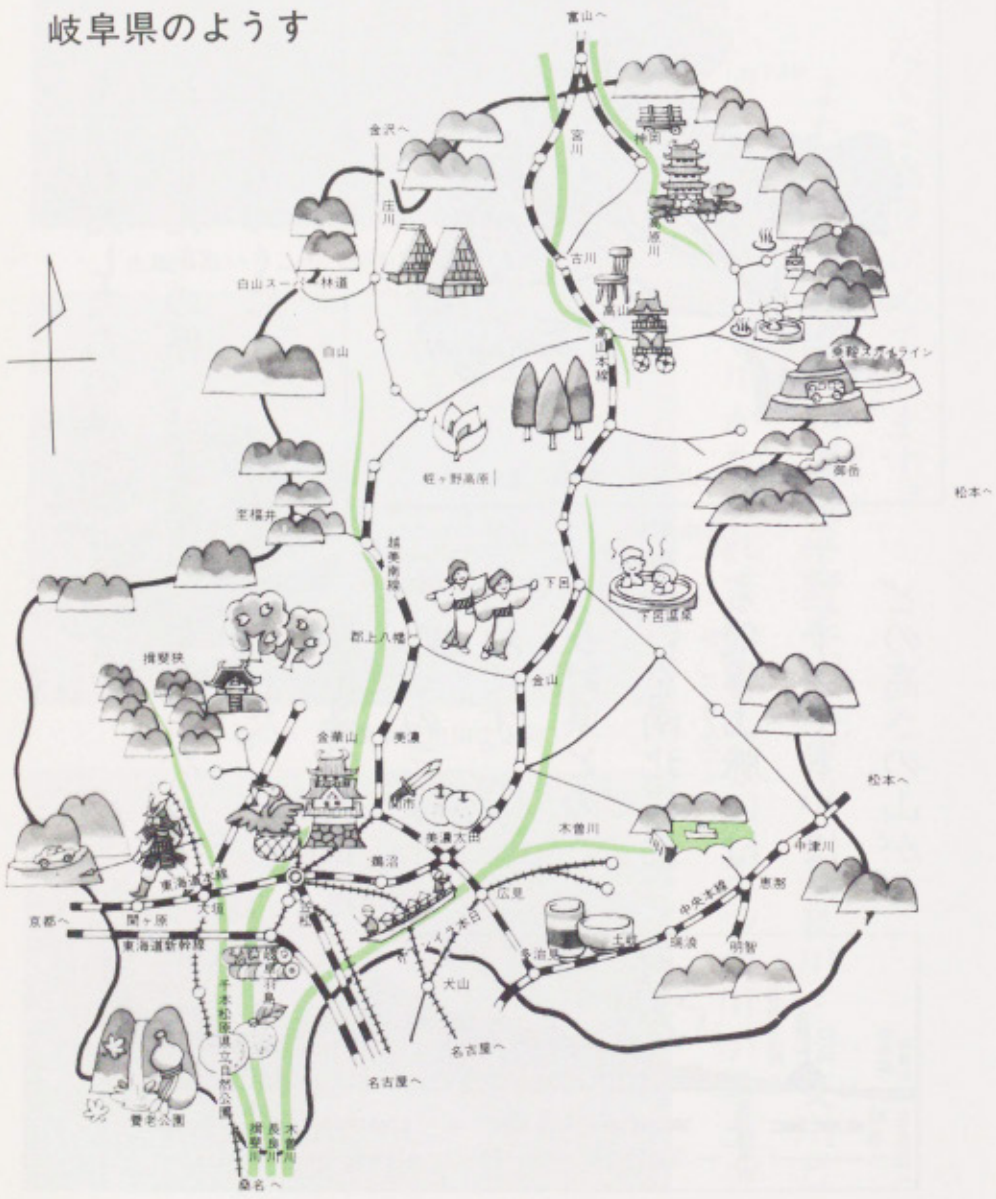
ここでは、岐阜県の中で、各務原市と土地のようすのちがう市をえら
んで、その土地の人たちの、しごとやくらしについて調べてみましょう。

そして、各務原市とのちがいを見つかることによって、わたしたちの
市の土地のようすやしごとやくらしのとくしよくを、考えていきましょ
う。

まず、初めに岐阜県全体の土地や気候のようすを見てみましょう。

行ったことが
ある土地をさ
がしてみまし
よう。

岐阜県のようす





土地の高いところ (郡上郡白鳥町石徹白)

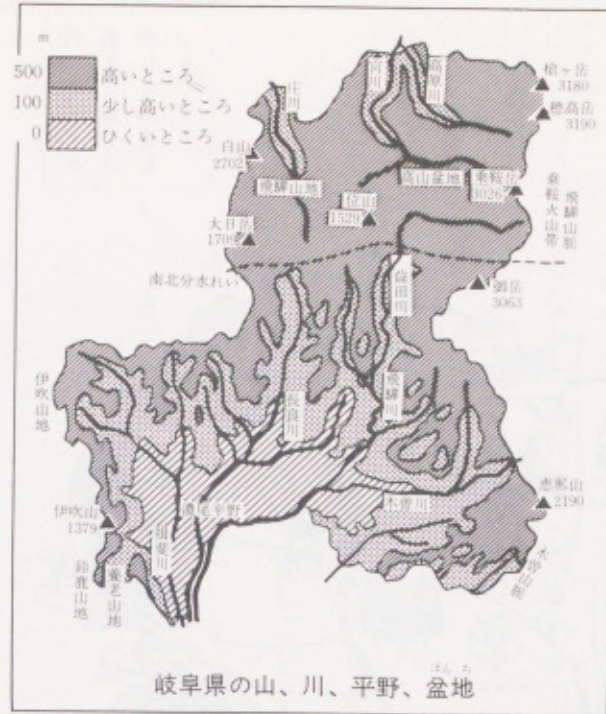


少し高いところ (美濃加茂市山之上町)



土地のひくいところ (海津郡海津町ふきん)

たくさんそびえています。
 また、ひくくて広い濃尾平野を、木曾川・長良川・揖斐川と
 いう三つの大きな川がながれています。この三つの川が集まっ



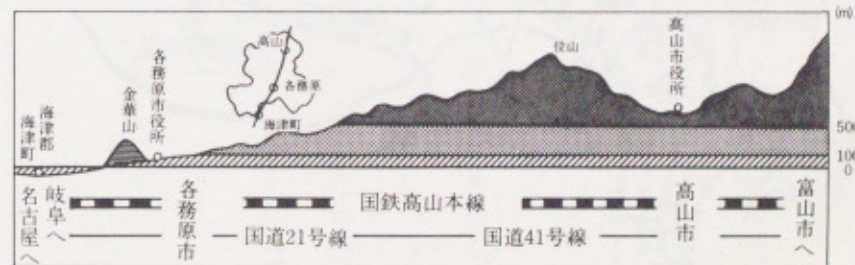
岐阜県の山、川、平野、盆地

(色ぬりをしましょう)

岐阜県の面積の四分の三は、山地です。長野県とのさかいを南北に走る飛驒山脈には三千メートルほどの高さの山が

岐阜県の土地のようすのどくしよくをしらべましょう。

「わたしたちの県、岐阜県は、むかしから、山と水のくに」といわれてきました。





冬の高山市、遠く飛驒山脈をのぞむ

ている県の南部では、海面と同じぐらいの、ひじょうに低い土地になっています。

このように、土地の高さのちがいの大きい県は、日本では、多くありません。

岐阜県は、南北に長く、土地の高さのちがいも大きいため、同じ県の中でも、北部と南部では、氣候がずいぶんちがっています。

そのため、人々の生活にも、ちがいが見られます。

ここでは、岐阜県の北部にある高山市をとり上げて、各務原市とは、氣候・土地のようす・人々の生活が、どのようにちがっているのだろうかということを学習していきましょう。

2 山の都 高山市

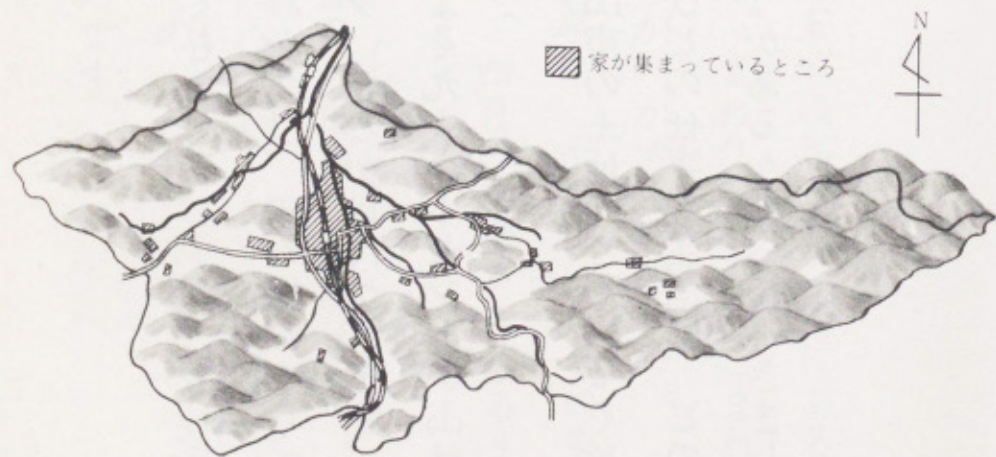
高山市は、遠くに飛驒山脈をのぞみ、まわりを緑の山々にかこまれた、岐阜県で、もつとも北にある市です。

各務原市から、約百二十キロメートルあり、国道二十一号線と四十一号線や、国鉄高山本線を使って行くことができます。

高山の町は、四百年ほど前、金森長近が城下町として作ったのが始まりです。そのため、古い時代のたて物が多く、

高山市と各務原市の土地のようすをくらべてみましょう。

3 高山市の土地のようす
 わたしたちの各務原市には、北部に三百メートルぐらいの山がいくつかあります。
 それにくらべ、高山市は、市役所のある町の中心でも、六百メートルという高い所にあるのです。
 しかも、まわりを千メートル以上の高い山にかこまれているのですから、土地のつかいかたも、わたしたちの市と、ずいぶんちがった



高山市のようす



古い街並

市で、飛驒地方の中心となつています。

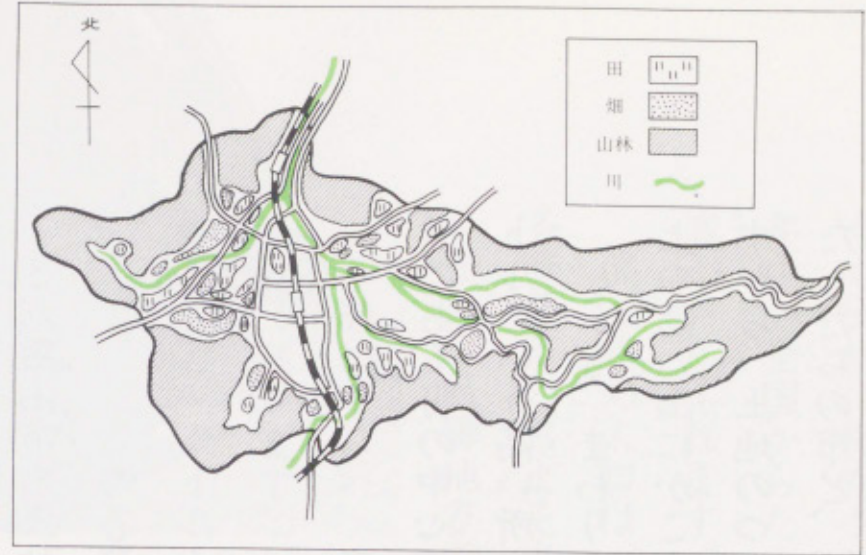
今も大切に保存ほぞんされており、一年中、全国からたくさんかんこうの観光客がおとずれます。

高山市の人口は、約六万人で、各務原市のおよそ半分です。

また、飛驒地方でただ一つの



観光客でにぎわう国鉄高山駅



高山市の土地利用のようす

ています。

上の図を見てもわかるように、高山市の土地の使われかたは、田や畑にくらべ山林がとて多いことが目につきます。

市の土地のおよそ九十パーセントが山林なのです。

こうした高山市の土地のつくしよくと、ここに住む人びとの仕事や生活は、どのようなつながりがあるか調べていきましよう。

4 高山市の気候

高山市は、各務原市とくらべると、土地の高いところにあるため、一年を通して気温は低く、また、まわりを山でかこまれた盆地であるため、昼と夜の気温のちがいが大きいのです。

また、高山市では、冬のおとずれが早く、十月には、どの家でもストーブの準備をします。そして、四月の半ばをすぎると使っています。

気温が氷点下になる日が、一年に百三十日ぐらいあります。そして、雪のふる日も多く、一年に八十日ぐらいあるそうです。したがって、十一月から三月までの、それぞれの月にふる雨や雪の量は、各務原市よりも多いのです。

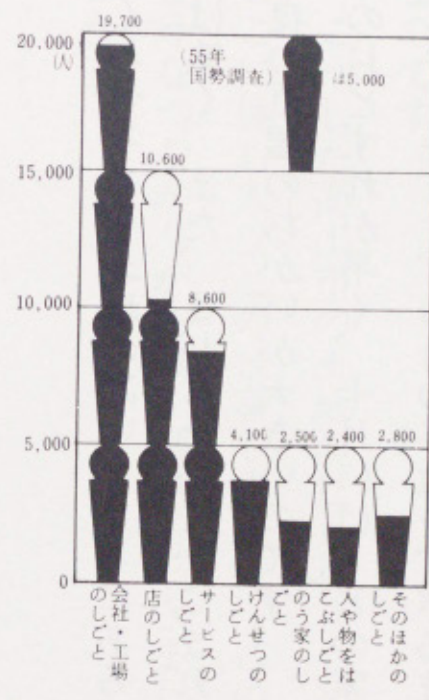
各務原市の気候とのちがいを、くらべましょう。

各務原市の人
たちのしごと
とくらべてみ
ましよう。

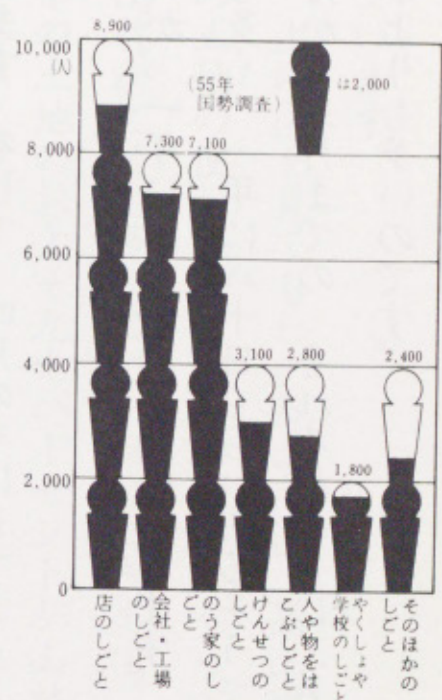
5 高山市の人たちのしごと

山地にかこまれた高山市の人たちは、どんなしごとをして、くらしをたてているのでしょうか。

市全体でいちばん多いのは、店のしごとです。つぎに多いのが、会社・工場のしごとで



各務原市の人たちのしごとしらべ



高山市の人たちのしごとしらべ

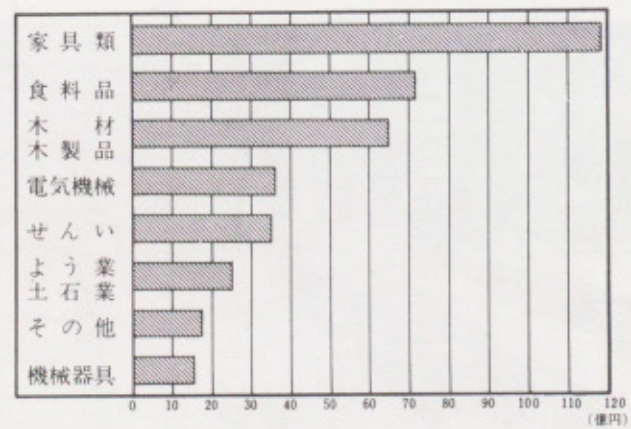
店のしゅるい	けん数
食どう・きっさ	35
みやげ物	10
旅館	9
その他	31
合計	85

高山駅前(花里町5・6丁目)の店のしゅるい —昭和57年度—

す。わたしたちの市とくらべて、どうでしょうか。工場かのしごとは、山林が多いという土地のとくしよくを生かした家具や木材に関するのあるしごとが多いことがわかります。

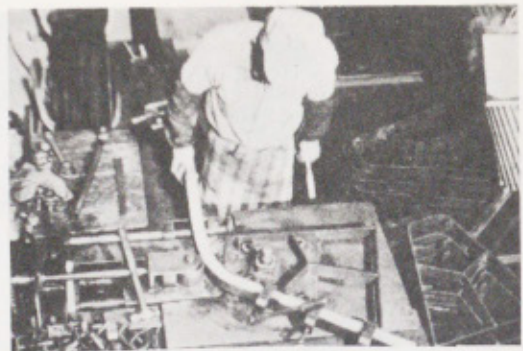
店のしごとは、みやげ物屋や旅館りょかんが多く、観光かんこうの町としてのとくしよくが出ています。

とくに、駅前には、たくさんのお店が集まっており、観光に来た人たちにぎわっています。



高山市の工業生産高 (昭和55年度)

高山市では、なぜ家具などの木製品がさかんにつくられるのでしょうか。



曲木のしごと

高山市では、なぜ家具などの木製品がさかんにつくられるのでしょうか。

ていますが、中でも、「曲木まげき」という方法をつかって作る家具が、いちばんたくさん作られています。

ところが、曲木家具を作るのにべりなブナの木は、曲木家具がたくさん



曲木家具



せいろづみにされた板おき場

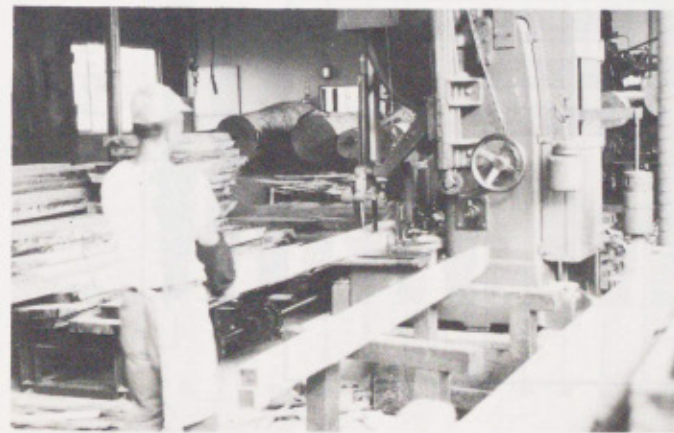


木の切り出しのしごと

6 工場のしごと

高山市では、むかしから、まわりの山林を利用した木工業がさかえてきました。

山から切り出された木は、まず貯木場ちよぼくじょうに集められ、市内の木材市場でねだんを決めて、市内の

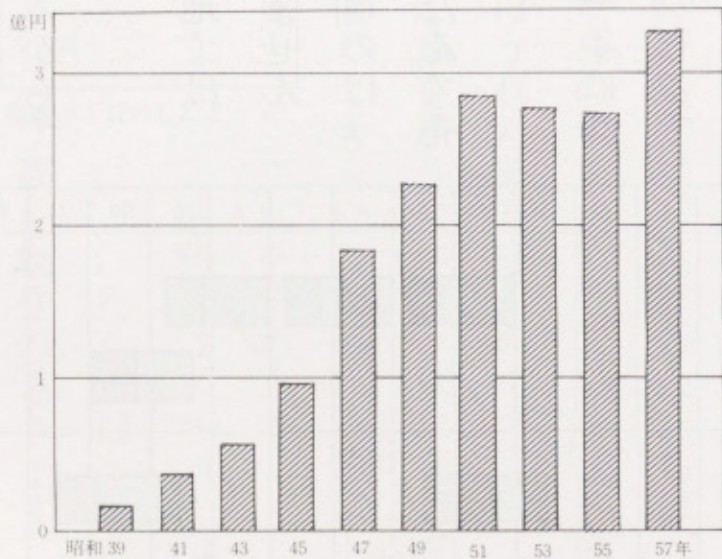


製材のしごと

野菜のつくり
れている時期
をくらべまし
よう。

7 農家のしごと

(1) さかんなほうれん草づくり
高山市と、その近くの農家で
は、米のほかにも、夏には、ほう
れん草・はくさい・キャベツな
どの野菜をつくっています。
この中でも、ほうれん草づく
りはとくにさかんで、その生産
量は、年々ふえています。
このようにほうれん草づくり
がさかんになったのは、高山市



高山市のほうれん草の出荷量のうつりかわり



曲木家具の他に作られるもの

ていいます。
高山市では、曲木家具の
他に、春慶ぬり、一刀彫、
渋草焼、山田焼、小系焼と
いった古くから伝わる産業
や、つまようじ、マツチと
いった日用品の生産もさか
んに行われています。



作られるようになってきたため、飛驒で切
り出されるブナの木だけではたりなくなり、
ほとんど(九〇%)を、東北地方から買っ



一刀彫のしごと



春慶ぬりのしごと

高山市とその近くで、ほうれん草づくりがさかんなわけを、しらべましょう。



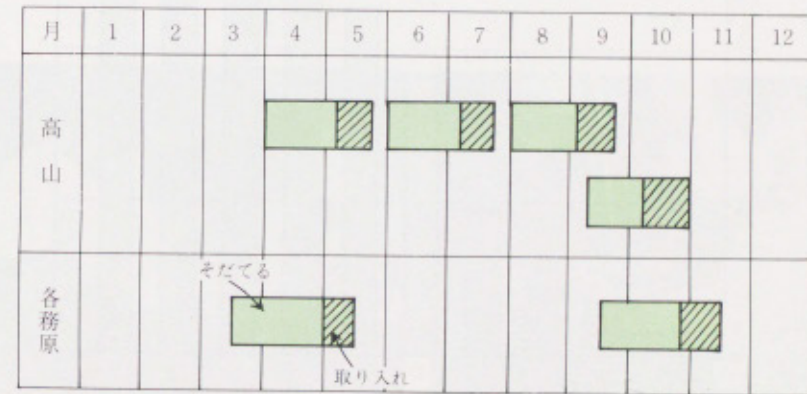
ビニルハウスの中のほうれん草

では、夏でもすずしいということが、ほうれん草が育つために適しているからです。

また、暑い夏には、ほかの土地では、

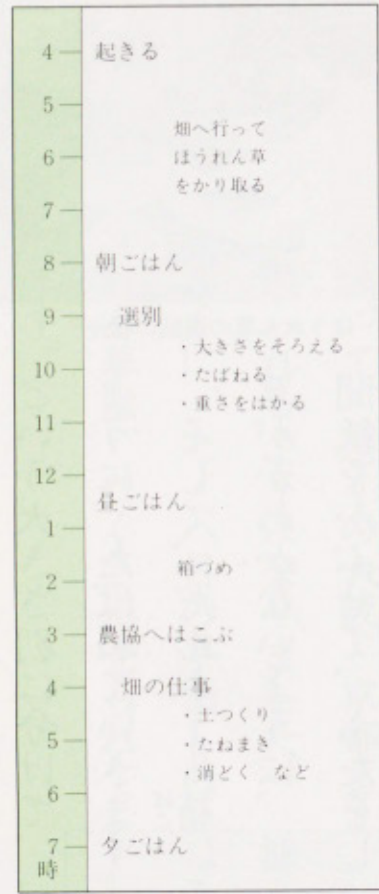
ほうれん草が育ちません。そのため、高山市のほうれん草は、高いねだんで売れるのです。

農家の中には、一年に四回もほうれん草をつくっているとあります。



各務原市と高山市のほうれん草ごよみ

農家の人の一日の仕事をしらべましょう。



農家の1日のしごと

(2) ほうれん草の選別

ほうれん草は、暑さと雨に弱い野菜です。農家の人たちは、ほうれん草を、大きなビニルハウスの中でつくっています。そして、暑い太陽の光と雨から、ほうれん草を守るのです。

農家の人は、朝早く、ほうれん草をかりとって、家に運んできます。そして、近所の人に手伝ってもらいながら、選別のし

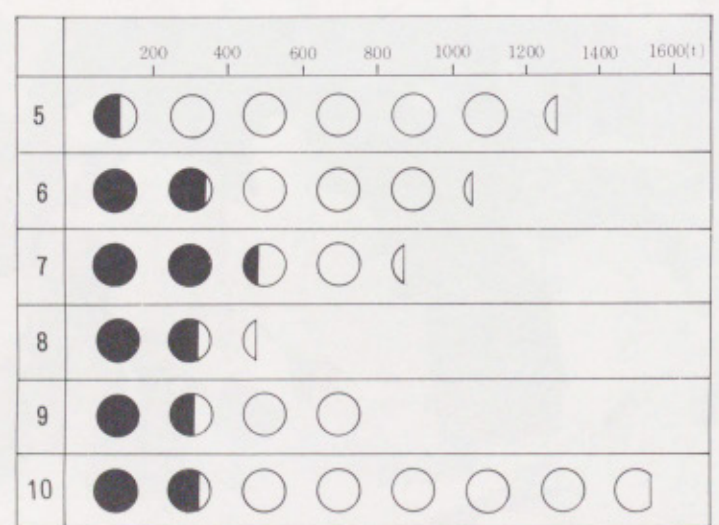
ごを始めます。

選別では、さいしよに、いたんだほうれん草を取りのぞきます。

次に、M・L・2L

高山市のほうれん草が、どのようにして大阪・京都まで運ばれるのでしょうか。

(3) ほうれん草による結びつき
 農協の予冷庫よれいこで、一日冷やされたほうれん草は、保冷車ほれいしゃにつみこまれます。
 こうして、新せんさを失わずに、ほうれん草は、高速道路を使って、遠くの大阪・京都まで送られるようになりました。
 とくに、七・八月の早出しほうれん草は、たくさん売られています。

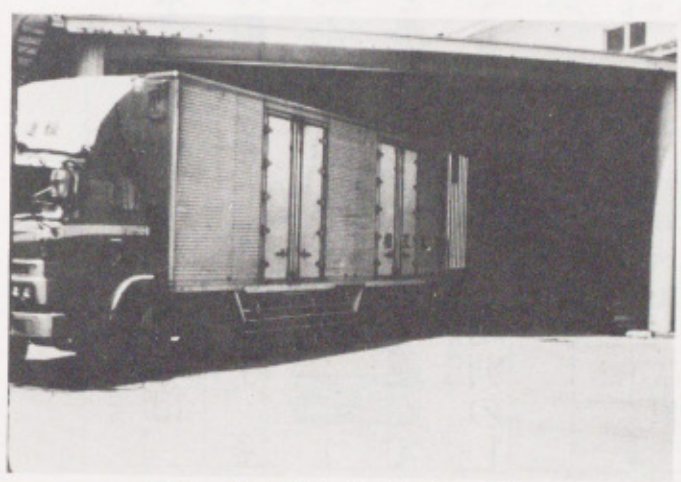


○は200t ●は高山市から送られるほうれん草
 大阪・京都などの市場に集まるほうれん草のようす (昭和57年度)



ほうれん草の選別の様子

多い日には、一けんの農家で七十箱ほどあるそうです。
 午後三時になると、ほうれん草の入っただんボール箱ぼこを、農協へ運びます。
 という大きき別に分けて、一たばが八十グラムになるように、たばねていきます。
 そして、だんボール箱ぼこに五十たばを入れ、ほうれん草がかわかないように、新聞紙をかぶせて、ふたをします。



農協から運び出されるほうれん草

各務原市の冬の生活と、くらへましょう

8 冬のくらし

高山市の冬は、長くて、寒い冬です。

ほとんどの家庭では、十月からストーブをたいています。

高山市の友だちのお母さんに、冬のくらしのようすを聞いてみました。

「冬になると、ほとんど毎日のように、最低気温が氷点下になります。そして、雪のふる日



冬の子どもの遊び



冬の土間のしごと

が続きます。子どもたちは、雪の中で、ソリすべりや雪ダルマを作ったり、雪合戦をして、元気に遊んでいますよ。

あまり寒いので、道路がおったり、水道かんがはれつたり、洗たく物を家の中でほしてもコチコチになるなど、生活にふべんなことがあります。

外で働くことが、ほとんどできないので、家の中でできる仕事をくふうしています。

高山の人たちは、みな、一日も早く春が来ることをねがいがながら、寒い冬をすごすのですよ。」

と、教えて下さいました。

高山市と各務原市のとくしよくを表にまとめて、くらべてみましょう。

9 わたしたちの市とくらべて
 わたしたちは、高いところにある高山市をえらんで、土地のようすと人びとのくらしには、どんなつながりがあるか考えてきました。

高山市は、各務原市と同じ県にあるのに、土地のようすも使われかたも、ずいぶんちがっていることがわかりました。
 わたしたちの市のとくしよく

田や畑のしごと	気候のようす	土地のようす	
米のほかに、里いもやにんじんが多く作られている。 台地の水はけのよさを生かしている。	夏はあつい。 冬はそれほど寒くない。 雪が少ない。	川の下流にある。市の北がわは山、南がわは川。木曾川は川はばが広い。	各務原市
米のほかに、ほうれん草やはくさいが多くつくられている。 山地のすずしい気候を生かしている。	冬は寒い。 雪が多い。	山地の中の上流にある。市のまわりが山地。宮川は川はばがせまい。	高山市

が、よくわかるように、土地のようす、人びとのしごとなどについて、にているところ・ちがうところを、下の表のようにまとめてみました。

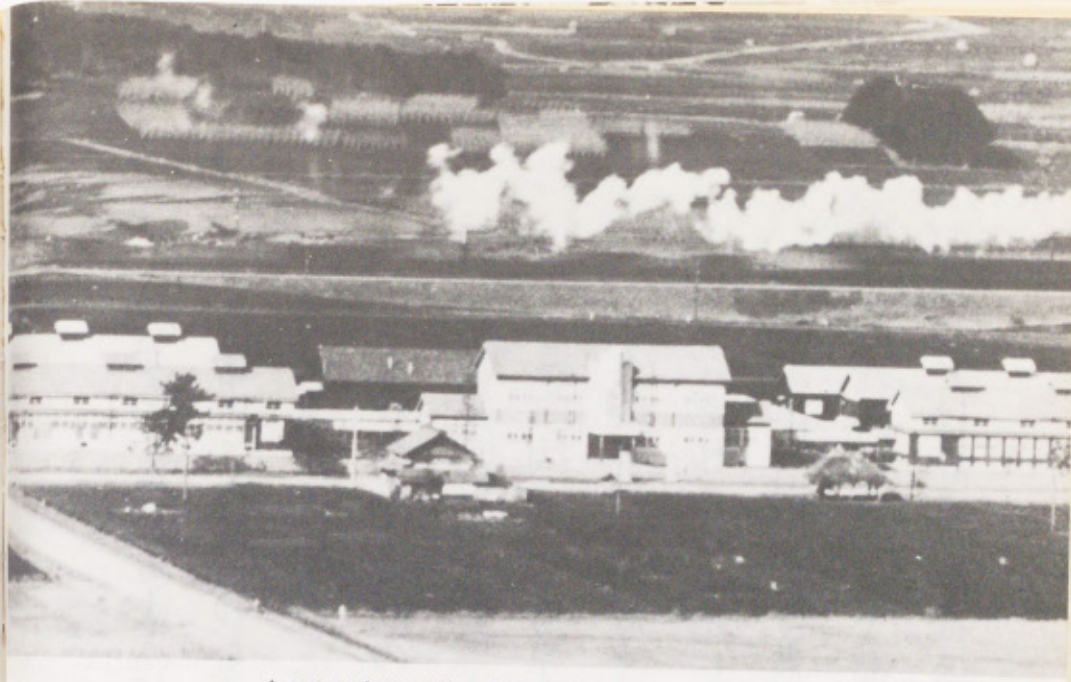
県内には、各務原市とちがった土地が、まだたくさんあります。それらの土地についても、高山市と同じように調べ、わたしたちの市のとくしよくを、もつとはつきりさせましょう。

工場や店のしごと	鉄道や道	その他
いろいろな工場が市のあちこちにある。 木材団地がある。金屋団地がある。食料品店や食べ物屋が多い。	国鉄のほかにも鉄やバスが走っている。 土地がたいらなのでトンネルはない。	岐阜や名古屋などの都市に近い。 新しく建てられた家が多い。
木工業の工場が多く、市の中心部近くに集まっている。 木材団地がある。みやげ物屋や食べ物屋が多い。	国鉄のほかにもバスが多く走っている。 山が多く、トンネルも多い。	近くに大きな町がなく、飛騨の中心地である。 古い時代からのたて物が多い。



今の市役所付近のようす (昭和54年)

す。また、学校も、山をけずってたてられるようになりました。
わたしたちの市が、いまのようすがたになるまでには、いろいろなできごとがありました。
いまのようすがたになる前は、どんなだったのでしょうか。
それには、どんなできごとがきっかけになったのでしょうか。
そして、わたしたちの市は、これからどのようにかわっていくか、また、どのようになっていくたらよいかを考え、話しあってみましょう。



今から50年ほど前の市役所付近のようす (昭和8年)

六 かわつてきた各務原市

わたしたちは、これまで、いまの市のようす、市の人たちのしごとや、くらしのくふうなどについてしらべてきました。

また、高山市のようす、高山市の人たちのしごとや、くらしのくふうなどについてもしらべ、わたしたちの市とくらべてきました。

ちかごろの各務原市では、あちらこちらの山がけずられ、田畑がうめられ、工場やじゅうたくが、どんどんたてられています。

わたしたちの学校のともだちの数がふえたのも、学校の近くに新しい家がふえたからで

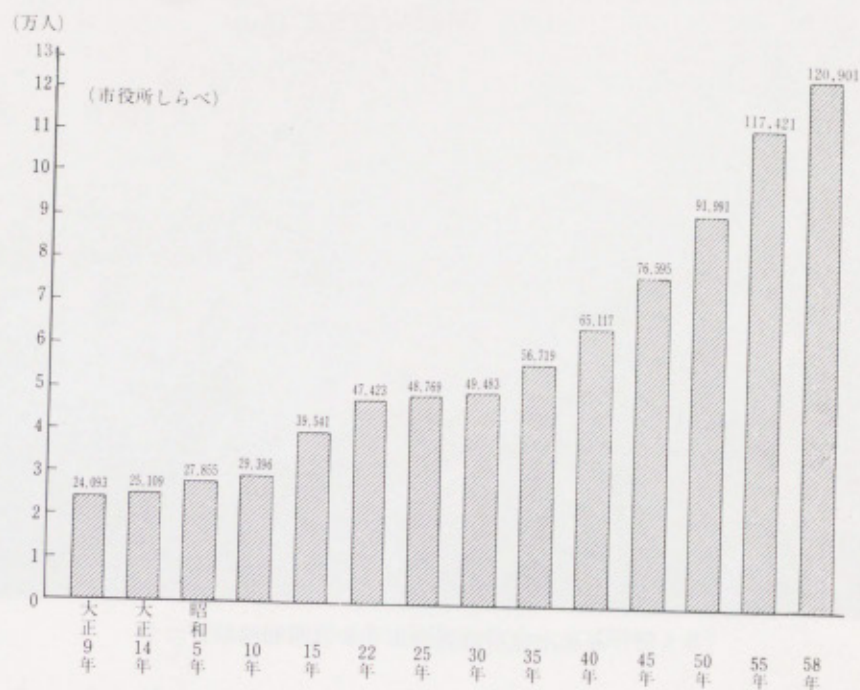


山をけずってたてられたじゅうたく（鶴沼）

らこちらの山がけずられ、田畑がうめた
てられて、いくつかの工場やじゅうたく
がたてられるようになりました。工場で
はたらく人たちの社たくや、アパートな
どもたてられました。

また、さいきんでは、岐阜市や名古屋
市へ、つとめに行く人たちのじゅうたく
が、どんどんたてられ、市の人口はふえ
るいっぱいです。

そのため、小学校も、むかし（明治六
年）は、那加（今の那加第一）・蘇原



各務原市の人口のうつりかわり（昭和58年9月現在）

Ⅰ 市のうつりかわり

(1) 人口のうつりかわり

わたしたちの市の人口は、高山
本線や名鉄各務原線がしかれ、川崎
崎重工の工場が、つくられてから、
急にふえはじめました。とくに、
昭和になって、せんそうでひこ
きを作るしごとがいそがしくなっ
てから、工場ではたらく人の数が
ふえ、人口も急にふえました。

昭和三十年ごろになると、あち